

学校応援プロジェクト 2020 年度

多摩市立和田中学校 いじめ防止教育プロジェクト

2021 年 1 月から 2 月の 4 回にわたり、多摩市立和田中学校の生徒会本部役員のみなさんと、学校応援プロジェクトとして初めてのいじめ防止教育プロジェクト・「和田トーク」を実施しました。

今回のプロジェクトは、生徒会本部役員のみなさんが「いじめ防止活動」に取り組むにあたり、どのようなことができるのかを、大学生と一緒に考えようというものです。当初は対面での実施を計画していましたが、感染防止の観点からオンラインで行いました。



生徒会本部役員のみなさんが 3 グループに分かれ、1 グループに 2 ～ 3 名の学生が入り、毎回 1 時間程度話し合いを行います。

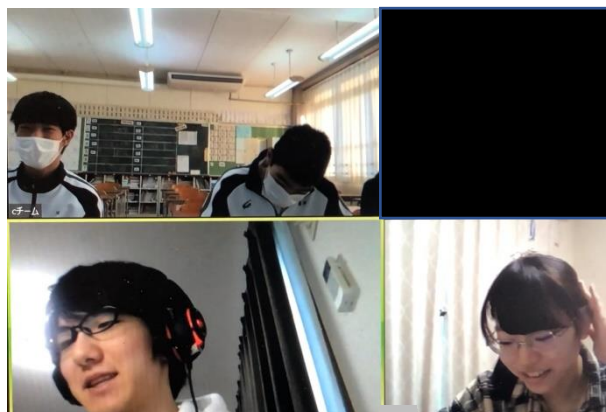
1 回目、2 回目は、「いじめのイメージ」や「いじめについて思うこと」などいじめについて、それぞれが思っていることを広く話し、少しずつ意見交換を進めていきます。「いじめは何故いけないのだろうか」「いじめといじりは何が違うのか」「正義のいじめと呼ばれるものはあるのか」、そもそも「いじめとは何か」といった、これまでにはあまり正面から考えてこなかった視点から話を深めて

いきます。「いじめとは何か」という点に関しては、文部科学省が示している「いじめの定義」についても学びました。

和田中学校の生徒会がこれまでに行った全校生徒対象のアンケートによると、「全校生徒の 88%が『いじめは絶対にダメ』と回答していますが、12%は『そうではない』としています。いじめがいけないことは当たり前のようには言われていますが、本音のところでは納得できていない表れかもしれません。

「いじめは何故いけないのだろうか」というテーマでの話し合いでは、「相手の人生をダメにしてしまうから」「いじめられている人が嫌な思いをするから」「人としての権利を奪うから。その権利を奪う権利は誰にもない」といった意見がだされました。このことは、大学生も改めて向き合うと「なぜ？」と考えさせられるテーマでもあり、事前の勉強会では時間をかけて意見交換を行った部分ですが、中学生のみなさんがしっかりとした考えを持っていることに驚きました。

また、いじめの定義については、「『いじめられる側がいじめと思ったらいじめ』といわれるが、そうではない場合もあるのではないかと」いった疑問や、「大きないじめはなくすべきだが、小さいいじめ（いじりのようなもの）は仕方ない」「受け取る側の問題で、周りがいじめではないと思っても、いじめられる側は自殺まで追い込まれた例もある。受け取る側の気持ちに配慮して、一つ一つの言動をよく考えるべき」などといった意見がでて、様々な考えを聞きながら、考えを深めていきました。



第4回の最終回は和田中学校の生徒会長が進行を務め、今後、いじめ防止に向けて中学校でやってみたいことなどを全員で検討しました。

生徒会のみなさんは、学生との話し合いを経て、全校のみなさんにポスターなどをつくり「いじめ防止」の取り組みを実践しアピールをすることになったようです。ポスターは生徒みんなに意識してもらえるように工夫して貼るとのことでした。



今回のプロジェクトはとてもデリケートで難しい内容でしたが、生徒会のみなさんが積極的に意見を出してくれたことで大学生にとっても有意義な機会となりました。真剣な中にも笑いもあり、大変充実した時間でした。



4回の和田トークを終わってから書いてもらったアンケートを紹介します。それぞれに新しい気づきがあったようです。

- ・第三者についての見方が変わった。
- ・もともといけないことだと思っていたが、今回のことでよりなぜダメなのか、何がいけないかが分かった。
- ・最初は単純に「いけないもの」という印象だったけど、和田トークをしてみて、いじめは「本当にいけないもの」という印象になりもう少し周りを見て生活したいと思います。
- ・深いところまでわかった。
- ・いじめの定義を聞き、自分から考えようと思うことが出来た。
- ・いじりとの違いを知ることが出来た。

中学生のみなさんにとって実りのある「和田トーク」となったと思います。学校応援プロジェクトにとっては初めての実践で、話し合いの進め方などで反省点もありましたが、いじめについて中学生とともに正面から向き合う機会をもてたことは、大学生にとっても大変貴重な経験となりました。

学校応援プロジェクトでは、「いじめ防止教育」はどの学校でも実施が求められる重要なテーマであると位置づけ、2019年12月から活動を開始しました。当初は「いじめ」に関する勉強会を開催することから始め、コロナにより一時活動中断はありましたが、オンラインを活用した勉強会を重ねてきました。

今回の取り組みはコロナにより活動が制限される前に和田中学校の校長先生からご依頼をいただいていた。2020年の夏休みには代表の学生たちと校長先生とでオンライン会議を持ち、その後も担当の先生方との打ち合わせを持つなどして準備を進めてきましたが、その後の感染拡大の影響で実施が度々延期になり、企画検討から実施まで1年近くの時間を要することになりました。その間、実施に向けて全面的にご協力をいただいた和田中学校の先生方、毎回積極的かつ真摯に話し合いに参加して下さった和田中学校生徒会のみなさん、本当にありがとうございました。

